

“ともに立ち上がろう！”

JBU 救援ニュース <第 7 号>

基幹労連
東日本大震災
中央災害対策本部
2011年4月8日(金)

ご安全に！被災された多くの皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

◆ 現在の被災状況

現在掌握できている組合員の人的被害状況は次のとおりです。

4月8日現在 死亡 10名、安否未確認 2名

◆ 支援ニーズに即した支援を行う

被災県本部とは、電話連絡や激励訪問などにより、支援ニーズを把握しています。その対応については、復旧・復興の各段階で必要とする物資に変化が生じることや、即効性が求められることから、本部一括手配によりすすめることとしています。これまでの支援物資は、作業物品、ポリタンク、ガソリンの携行缶、下着、文房具、長靴などとなっています。また、現在宮城県本部へ自動車の貸与を決定し準備を行っています。

今後も日々変化してゆく支援ニーズに、即応性を重視し可能な限りの対応をしていきます。

支援物資のうち、作業着（ユニホーム）は東洋鋼鉄労働組合、携行缶はジャパンペール労働組合経由でそれぞれ会社よりご支援をいただきました。ご協力ありがとうございます！

◆ 復旧・復興に関する政策について組織内、準組織内議員 4 名に要請

3月30・31日に実施した、激励訪問時に要望のあった事項をとりまとめ、組織内・準組織内議員に要請を行っています。具体内容としては、ガソリン不足への対応、避難所化した学校や働きに出るための保育所再建、仮設住宅の充足、自動車および住宅購入における減・免税など対応、一方、経済面に関しても、事業の早期再開に向けインフラ設備の早期復旧、原子力発電事故による風評被害の防止、雇用対策など、被災地域の経済の活性化に向けた施策を求めています。

まさに、被災者の切実な生の声です。早期に実現するよう要請事項のフォローアップも含め対応していきます。

◆ 釜石・気仙沼で連合ボランティア頑張る！

3月31日からの9日間、連合ボランティア派遣団に、7名が参加し活動してきました。基幹労連の担当地区（東和ベースキャンプ）では、釜石を中心に消毒の為の石灰散布などを行いました。ここではお忙しい中、岩手県本部の三浦委員長・三浦事務



局長他の参加も得て活動してきました。7日発生の余震により帰路の変更はあったものの、早朝無事に帰着しました。お疲れさまでした。

また、同日出発した連合構成組織(各産別)本部役員が中心となって活動する特別支援チームでは、本部より1名が参加し、復旧が遅れている気仙沼地区で活動をしています。気仙沼では、今までに

ボランティアが入っていない地区や重油タンクによる火災のあった鹿折(ししおり)地区での活動もあり悲惨な状況のなか、泥の掻きだし、家財の搬出など復旧作業をつづけています。

ボランティア活動情報や注意事項などを掲載した連合救援ボランティアレポートを基幹労連のホームページにアップしていますので、ぜひごらん下さい。

◆ 連合ボランティア第2陣は余震の影響により2日延期の10日出動！

加盟組合の支援を頂き20名(本部1名を含む)の参加を得て、4月8日に出発予定の第2陣は、7日発生の余震の影響(受入先の停電など)により、出発を2日延期して10日となり、帰着は変わらず4月16日までの予定となっています。第1陣と同様、岩手県花巻市(東和地区)にベースキャンプをおき大船渡、釜石、陸前高田地区を中心に活動します！なお、出発延期に伴い遠方からの参加者の8名は、ホテルラングウッドに宿泊し出発に備えることとなっています。

今回の連合ボランティア活動には、募集人数を超える多くの応募をいただきありがとうございます。また、希望に沿えなかった方が多くなり、お詫び申し上げます。

◆ 支援カンパにご協力をお願いします！

カンパ活動にご協力を頂き、誠にありがとうございます。第1次集約を4月15日としています。引き続きご協力頂きますよう重ねてお願いします。25万5千人の助け合いをぜひ！

以上

<基幹労連本部連絡先> 電話 03-3555-0401
土日・祝日・夜間(携帯電話)
080-1126-4134

基幹労連中央災害対策本部ニュース⇒ www.kikan-roren.or.jp